

◎ 指示があるまで開かないこと。

(令和5年2月10日 10時40分～12時00分)

## 注 意 事 項

1. 試験問題の数は55問で解答時間は正味1時間20分である。
2. 解答方法は次のとおりである。
  - (1) (例1)、(例2)及び(例3)の問題では1から4までの4つの選択肢、もしくは1から5までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例1)、(例2)では1つ、(例3)では2つ選び答案用紙に記入すること。  
 なお、(例1)、(例2)の質問には2つ以上解答した場合は誤りとする。(例3)の質問には、1つ又は3つ以上解答した場合は誤りとする。

(例1)

101 保健師助産師看護師法で保健師を定義しているのはどれか。

1. 第1条
2. 第2条
3. 第3条
4. 第4条

正解は「2」であるから答案用紙の②をマークすればよい。

<p>答案用紙①の場合、</p> <p>101    ①    ②    ③    ④</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>101    ①    ●    ③    ④</p>	<p>答案用紙②の場合、</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="text-align: center;">101</td> <td style="text-align: center;">101</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">①</td> <td style="text-align: center;">①</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">②</td> <td style="text-align: center;">●</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">③</td> <td style="text-align: center;">③</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">④</td> <td style="text-align: center;">④</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">→</p>	101	101	①	①	②	●	③	③	④	④
101	101										
①	①										
②	●										
③	③										
④	④										

(例2)

102 保健師助産師看護師法が制定された年はどれか。

1. 明治 32 年(1899 年)
2. 大正 4 年(1915 年)
3. 昭和 23 年(1948 年)
4. 昭和 43 年(1968 年)
5. 平成 13 年(2001 年)

正解は「3」であるから答案用紙の③をマークすればよい。

答案用紙①の場合、					答案用紙②の場合、				
102	①	②	③	④	⑤	102	①	102	①
			↓			①		①	
102	①	②	●	④	⑤	②		②	
						③	→	●	
						④		④	
						⑤		⑤	

(例3)

103 保健師籍に登録されるのはどれか。2つ選べ。

1. 生年月日
2. 受験年月日
3. 卒業年月日
4. 就業年月日
5. 登録年月日

正解は「1」と「5」であるから答案用紙の①と⑤をマークすればよい。

答案用紙①の場合、					答案用紙②の場合、				
103	①	②	③	④	⑤	103	①	103	①
			↓			①		●	
103	●	②	③	④	●	②		②	
						③	→	③	
						④		④	
						⑤		●	

(2) 計算問題については、に囲まれた丸数字に入る適切な数値をそれぞれ1つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例4)の質問には丸数字1つにつき2つ以上解答した場合は誤りとする。

(例4)

104 50床の病棟で入院患者は45人である。

この病棟の病床利用率を求めよ。

ただし、小数点以下の数値が得られた場合には、小数点以下第1位を四捨五入すること。

解答：① ② %

- |   |   |
|---|---|
| ① | ② |
| 0 | 0 |
| 1 | 1 |
| 2 | 2 |
| 3 | 3 |
| 4 | 4 |
| 5 | 5 |
| 6 | 6 |
| 7 | 7 |
| 8 | 8 |
| 9 | 9 |

正解は「90」であるから①は答案用紙の(9)を②は(0)をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

①	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(●)	
104	②	(●)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)

答案用紙②の場合、

	104
①	②
(0)	(●)
(1)	(1)
(2)	(2)
(3)	(3)
(4)	(4)
(5)	(5)
(6)	(6)
(7)	(7)
(8)	(8)
(●)	(9)







- 1 令和元年(2019年)の生活習慣病の動向で正しいのはどれか。
  1. 肥満者の割合は男性より女性の方が多い。
  2. 脳血管疾患の死亡率は脳内出血より脳梗塞が高い。
  3. 悪性新生物の年齢調整死亡率で男性の部位別の第1位は大腸である。
  4. 糖尿病を強く疑われる者のうち現在治療を受けている者の割合は、男女ともに50%以下である。
  
- 2 自治会の説明で正しいのはどれか。
  1. 地縁組織である。
  2. 小学校区が最小単位である。
  3. 設置の義務が法律に定められている。
  4. 加入できるのは18歳以上の者である。
  
- 3 令和元年(2019年)の労働力調査における日本の女性の労働で正しいのはどれか。
  1. 就業者は前年に比べ減少している。
  2. 労働力人口の総数の約6割を占めている。
  3. 年齢階級別労働力率では40～44歳が最も高い。
  4. 非正規の雇用形態はパート・アルバイトが最も多い。
  
- 4 令和2年(2020年)の人口動態統計における年齢階級とその死因第1位の組合せで正しいのはどれか。
  1. 1～4歳 ————— インフルエンザ
  2. 5～9歳 ————— 悪性新生物〈腫瘍〉
  3. 10～14歳 ————— 不慮の事故
  4. 15～19歳 ————— 心疾患

5 がん検診の精密検査の未受診者への受診勧奨で、受診率の向上に最も効果が期待できるのはどれか。

1. がん体験者の講演会を開催する。
2. 保健師が精密検査の未受診者へ家庭訪問を行う。
3. 広報誌に精密検査実施医療機関の一覧を掲載する。
4. 自治体のホームページに精密検査の重要性を掲載する。

6 A市では子どもが健やかに成長できることを政策に掲げている。乳幼児の死傷原因を調べ家庭内事故が多いことが分かった。家庭内事故防止に向けた親の取り組みを促進することを目標とし、乳幼児の家庭内事故について親の認識調査を行うことにした。

この調査はプリシード・プロシードモデルにおけるアセスメントの段階のどれか。

1. 疫学アセスメント
2. 社会アセスメント
3. 運営・政策アセスメント
4. 教育/エコロジカル・アセスメント

7 A市では住民の健康づくりを促進していくため、小学校区ごとに健康推進員を育成して組織化している。来月、B小学校区に組織された健康推進員を参加者とする初めての会合が開かれることになった。

この会合においてB小学校区を担当する保健師が行うことで適切なのはどれか。

1. 組織のリーダーを指名する。
2. 参加者個人の健康課題の発表を促す。
3. 参加者間で活動目標を設定することを促す。
4. B小学校区の健康推進員組織の年間計画を作成する。



8 保健師は統合失調症で1年入院していた成人期のAさんへの退院支援を行った。

Aさんは地域でつながりを持ちながら生活することを望んでいる。

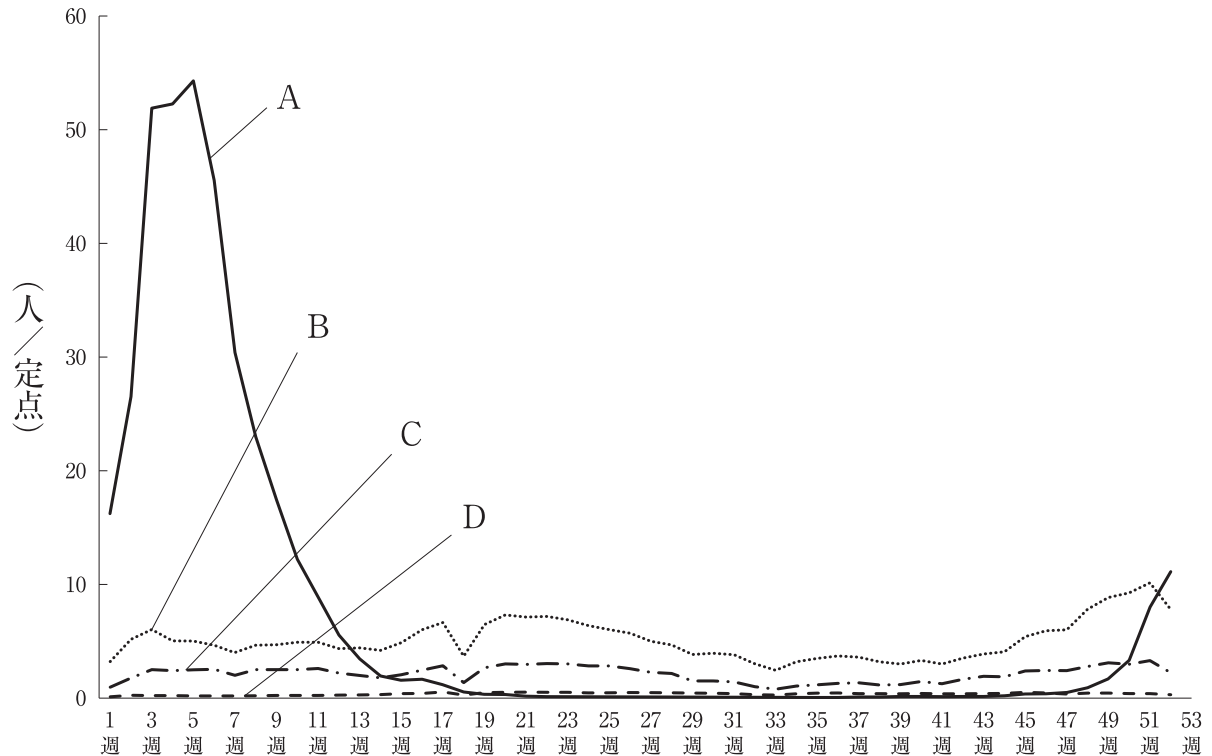
退院直後のAさんへの保健師の対応で適切なのはどれか。

1. 就労定着支援を行う。
2. 近隣住民に見守りを依頼する。
3. 地域活動支援センターを紹介する。
4. ピアサポーターとしての就労を勧める。

9 障害者(児)の日常生活や社会生活を支える福祉サービスのうち、介護給付の申請窓口で正しいのはどれか。

1. 地域包括支援センター
2. 社会福祉協議会
3. 都道府県
4. 市町村

10 令和元年(2019年)における五類感染症で、週単位で報告される定点把握疾患のうち、インフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、突発性発しんの各週の定点当たり報告数の図を示す。



インフルエンザの報告数はどれか。

1. A
2. B
3. C
4. D

11 文部科学省が実施する学校保健統計調査で正しいのはどれか。

1. 悉皆調査である。
2. 毎年10月に行われる。
3. 学校で実施する健康診断の結果に基づいている。
4. 学校管理下で死亡した児童生徒数が集計されている。

- 12 学校生活管理指導表について正しいのはどれか。
1. 養護教諭が記載する。
  2. 年に1回、学校へ提出しなければならない。
  3. 小学生用と中学・高校生用の2つに分かれている。
  4. 対象は心疾患、腎疾患、アレルギー疾患を有する児童生徒である。
- 13 労災保険制度について正しいのはどれか。
1. 事業主の災害補償責任は労働基準法に規定されている。
  2. 休業補償は休業1日目から補償の対象となる。
  3. 保険料は事業主と労働者が折半で負担する。
  4. 労災補償の申請は市区町村の窓口で行う。
- 14 コラボヘルスにおいて事業者が連携するのはどれか。
1. 健康保険組合
  2. 医療機関
  3. 市区町村
  4. 保健所
- 15 災害時のフェーズ4〈復旧・復興期〉における健康課題への対応で優先度が高いのはどれか。
1. 食生活、栄養のバランスの不良
  2. 慢性疾患治療の継続困難
  3. 感染症の流行
  4. 社会的孤立

16 感染症とその病原体の宿主の組合せで正しいのはどれか。

1. アニサキス症 ————— 魚
2. ウエストナイル熱 ————— ダニ
3. エキノコックス症 ————— 蚊
4. トキソプラズマ症 ————— 貝

17 保健師のプリセプターシップで最も適切なのはどれか。

1. 学習方法はプリセプターが提案する。
2. 管理期にある保健師がプリセプターを担う。
3. 新人保健師のリアリティショックの軽減につながる。
4. プリセプティが中堅期になっても同じプリセプターが担当する。

18 日本の社会保障制度で正しいのはどれか。

1. 保育制度は社会保険で運営している。
2. 生活保護制度は生存権を保障している。
3. 障害者福祉制度は措置制度が基本になっている。
4. 社会保障給付費は平成 22 年(2010 年)から 10 年間横ばいである。

19 地域保健法に規定されている内容で正しいのはどれか。

1. 市町村健康増進計画の策定を義務づけている。
2. 市町村保健センター業務の 1 つに調査研究がある。
3. 市町村保健センターの整備について規定している。
4. 都道府県保健所の業務の 1 つに予防接種事業がある。

20 児童虐待について正しいのはどれか。

1. 児童虐待を疑われて通告された者は通告した者を知ることができる。
2. 令和2年度(2020年度)福祉行政報告例における虐待相談の主な虐待者は実父が1番多い。
3. 令和2年(2020年)の児童相談所における児童虐待の内容別相談件数は身体的虐待が最多である。
4. 親権者が児童のしつけに際して体罰を加えてはならないことが、令和元年(2019年)に改正された児童福祉法に定められている。

21 難病の患者に対する医療等に関する法律〈難病法〉に基づく指定難病の医療費助成制度で正しいのはどれか。

1. 患者の自己負担割合は3割である。
2. 令和元年(2019年)時点で指定難病は110疾患である。
3. 国が指定した医療機関で受診した医療費が助成対象である。
4. 新規に医療費助成を受けるには難病指定医による診断書が必要である。

22 地球温暖化によって発生が増加するおそれがある感染症はどれか。

1. 後天性免疫不全症候群〈AIDS〉
2. ポリオ〈急性灰白髄炎〉
3. マラリア
4. 痘そう
5. 結核

23 令和2年(2020年)に策定された少子化社会対策大綱で示された施策とその数値目標で正しいのはどれか。

1. 保育所の待機児童数を3万人にする。
2. 男性の育児休業取得率を30%にする。
3. マタニティマークの認知度を80%にする。
4. 地域子育て支援拠点事業を3,000か所にする。
5. 妊娠・出産について満足している者の割合を70%にする。

24 事業継続計画(BCP: Business Continuity Plan)に基づいて災害発生後72時間以内においても行う保健師の業務で優先度が高いのはどれか。

1. 両親学級
2. HIV検査
3. 地域ケア会議
4. 特定健康診査
5. 高齢者虐待防止法に基づく立入調査

25 健康危機管理について、地域保健法で厚生労働大臣が定めることが規定されているのはどれか。

1. 地域防災計画
2. 厚生労働省健康危機管理基本指針
3. 医療提供体制の確保に関する基本方針
4. 地域保健対策の推進に関する基本的な指針
5. 地域における保健師の保健活動に関する指針

26 公衆衛生看護管理における人事管理の方法はどれか。

1. 部署の目標を組織内で共有する。
2. 保健師のジョブローテーションを行う。
3. 高度な知識、技術を必要とする業務を外部に委託する。
4. 次年度の保健師のマンパワーを考慮して事業計画を立てる。
5. 地域の健康課題について関連部門の職員から意見聴取する。

27 疾病と主な危険因子の組合せで正しいのはどれか。

1. 胃 癌 ————— 塩蔵食品
2. 肺 癌 ————— 運動不足
3. 乳 癌 ————— 遅い初経年齢
4. 膀胱癌 ————— アフラトキシン
5. 成人 T 細胞白血病 ——— 肥 満

28 相対頻度に含まれるのはどれか。

1. 有病率
2. 寄与危険
3. 寄与危険割合
4. 死因別死亡割合
5. 年齢調整死亡率

29 2つの非正規分布の母集団の数量データの比較に用いるのはどれか。

1. t 検定
2. 分散分析
3. 多変量解析
4.  $\chi^2$ 〈カイ二乗〉検定
5. Mann-Whitney〈マン・ホイットニー〉の U 検定

30 生態学的研究で、都道府県別の1人当たりの1日の歩数とBMIの平均値との関連の程度を評価するために計算するのはどれか。

1. 罹患率
2. オッズ比
3. 寄与危険
4. 相関係数
5. 相対頻度

31 政令指定都市の保健師の活動で正しいのはどれか。

1. 結核の積極的疫学調査を行う。
2. 近隣市町村の技術的支援を行う。
3. 地域医療構想の調整会議を行う。
4. がん対策推進基本計画を策定する。
5. 業務担当制の保健活動を基本とする。



32 持続可能な開発目標〈SDGs〉について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 2025年を達成年限としている。
2. 17分野の目標で構成されている。
3. 国際連合児童基金〈UNICEF〉で採択された。
4. 開発途上国が目指す目標を中心に構成された。
5. ミレニアム開発目標〈MDGs〉の後継として採択された。

33 コミュニティ・アズ・パートナー・モデルについて正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 10のサブシステムで構成される。
2. サブシステムは相互に影響しあう。
3. 地域のコアとなる情報に教育が含まれる。
4. 分析、立案、評価の3段階で構成される。
5. ストレッサーに対する抵抗力の向上を目指す。

34 健やか親子 21(第2次)の重点課題で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 妊娠期からの児童虐待防止対策
2. 育てにくさを感じる親に寄り添う支援
3. 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進
4. 子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり
5. 小児保健医療水準を維持・向上させるための環境整備

35 精神保健福祉センターの業務で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 精神保健に関する普及啓発
2. 地域自立支援協議会の運営
3. 薬物の不正取引の取り締まり
4. 自殺総合対策推進センターの運営
5. 保健所と精神保健関係諸機関に対する技術指導・援助

36 健康危機管理に関する保健所の業務はどれか。2つ選べ。

1. 食中毒発生時の調査
2. 狂犬病発生時の厚生労働大臣への報告
3. 感染症患者を診断した医師からの届け出の受付
4. 保育所で乳児が突然死したときの届け出の受理
5. 虐待が認定された介護老人福祉施設の指定の取り消し

37 累積罹患率の計算に必要なのはどれか。2つ選べ。

1. 観察開始時点での患者数
2. 各観察対象者の観察期間の総和
3. 観察期間に新たに発生した患者数
4. 観察開始時点での観察対象集団の人数
5. 観察終了時点での観察対象集団の人数

38 調査について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 患者調査は毎年実施される。
2. 国勢調査で出生率が把握される。
3. 社会生活基本調査は総務省が実施する。
4. 人口動態調査は無作為抽出による標本調査である。
5. 国民健康・栄養調査は健康増進法に基づいて実施される。

39 感染症発生動向調査で全数把握の対象となるのはどれか。2つ選べ。

1. 結核
2. 麻疹
3. 手足口病
4. マイコプラズマ肺炎
5. 性器クラミジア感染症

40 40歳以上の男性を対象とした疫学研究で、虚血性心疾患死亡率(10万人年対)を観察した。虚血性心疾患死亡率は、喫煙群では50.0、非喫煙群では25.0であった。

このときの寄与危険割合を百分率で求めよ。

ただし、小数点以下の数値が得られた場合には、小数点以下第1位を四捨五入すること。

解答：   %

① ②

0 0

1 1

2 2

3 3

4 4

5 5

6 6

7 7

8 8

9 9

次の文を読み 41～43 の問いに答えよ。

A さん(35 歳、女性)は結婚を機に実家から隣の B 市に移り、B 市で夫と長女(5 か月)と暮らしている。A さんは長女を連れ、B 市が実施する乳児相談会に参加した。月に 1 回開催されている乳児相談会では、乳児の身長・体重測定および相談や参加者との交流を行っており、長女は順調に成長している。A さんは「学生時代に親戚の子どもに接した経験が少しあるだけで、初めての育児に不安があります」と話し、表情がさえない。

保健師が A さんに話を聞くと、A さんは母親の手料理と手作りのおやつを食べて育ち、離乳食づくりに自信がなく、育児を楽しめていないことが分かった。

41 保健師の A さんへの対応で最も適切なのはどれか。

1. 離乳食教室への参加を勧める。
2. 簡単に作れる離乳食のレシピを渡す。
3. A さんが考える育児について話を聞く。
4. 母親に育児を手伝ってもらうことを勧める。

42 翌月の乳児相談会に参加した A さんは表情が硬かった。気になった保健師が声をかけると「夫の帰りが毎晩遅く、週末も家にいないことが多いです。私 1 人で家事や子どもの世話をするのはとても大変です」と涙を流しながら話した。

保健師の A さんへの声かけで適切なのはどれか。

1. 「参加者の皆さんと困っていることの解決策を考えましょう」
2. 「大変なのは今だけですから A さんなら大丈夫ですよ」
3. 「ご家族で家事や子育ての役割分担を決めましょう」
4. 「別室でゆっくりお話を聞かせてもらえますか」

43 2か月後の乳児相談会に参加したAさんは「離乳食が順調に進んでいる」と笑顔で話した。一方で、「これからも子どもの成長とともに、不安なことが出てきそう。もともと友達づくりが苦手な性格で、今も相談できる友達がいらない」と話した。保健師がAさんに勧める内容で適切なのはどれか。

1. 子育て支援センターの利用
2. 乳児相談会への参加の継続
3. 保健師による電話相談の利用
4. 近所の乳幼児が遊べる公園の利用

次の文を読み 44～46 の問いに答えよ。

人口 2 万人の A 市にある B 地区は人口 3,000 人、老年人口割合は 45 % で単身の高齢者世帯が増加している。2 年前に 300 戸の温泉付きのマンションが建設された。マンションの入居者の平均年齢は 67.2 歳で、都市部の会社を定年退職した者が多い。近所付き合いが少ないため、1 人暮らし世帯の入居者が死後 1 か月以上経って発見されることがあった。現在は高齢夫婦世帯が多いが、今後は配偶者の死亡によって 1 人暮らし世帯が増加する見込みである。保健師は住民と協働し、安心して暮らせる B 地区になるよう取り組むことにした。まず、保健師は地域の実態把握を行うことにした。

44 B 地区の健康課題を明らかにするために情報を収集する対象で優先度が高いのはどれか。

1. A 市の老人クラブの参加者
2. マンションの管理組合の長
3. B 地区の民生委員
4. B 地区の開業医

45 保健師は B 地区のマンションの入居者の世代や背景が似ていることに着目し、入居者が捉えている B 地区の交流に関する課題を把握したいと考えた。

その方法として最も適切なのはどれか。

1. 地区踏査
2. 電話インタビュー
3. インターネットアンケート
4. フォーカス・グループインタビュー



46 実態把握の結果、B地区のマンション入居者からは「近所付き合いがなく頼れる人がいないため、この先が不安」「定年退職後、趣味がないので外出する機会が少なく体力が落ちた」という意見が多かった。この調査結果をB地区の自治会長に説明したところ、「マンション入居者以外のB地区の人からも同様の意見を聞いている。近所付き合いのあるB地区にしていきたい」と話した。

B地区で保健師が取り組むことで最も適切なのはどれか。

1. 健康相談会の開催
2. 健康講座のオンライン開催
3. 介護予防サービスの利用案内の全戸配布
4. 75歳以上の住民への健康診査の受診勧奨
5. B地区の住民へのウォーキングマップづくりの提案

次の文を読み 47～49 の問いに答えよ。

製造業の A 社は従業員 500 名、平均年齢 42 歳である。高年齢労働者は現在 20 名だが、会社は高年齢労働者の活用を進めていく方針である。

製造現場で働く従業員(63 歳、男性)が工場内の通路で転倒する事故が起きた。

事故後に、A 社の保健師が安全管理者と面談した。安全管理者は「怪我が大したことなくてよかったが、どこで転ぶか分からないから怖い。貼り紙など注意喚起を行ってきたのに事故が起きた。高年齢労働者を製造現場で働かせるのは不安だ」と保健師に話した。

47 A 社の保健師が安全管理者に対して行う提案で優先度が高いのはどれか。

1. 高年齢労働者の体力測定
2. 高年齢労働者に合った配置部署の検討
3. 高年齢労働者に向けた注意喚起の強化
4. 高年齢労働者の特性を踏まえた事故原因の検討

48 A 社の保健師は、今後の事故予防の参考にするため高年齢労働者の数名に話を聞いた。「機器の警告音には注意している」「棚の影となる部分が暗く見づらい」「年齢だけで特別扱いはされたくない」「上司に会うたびに体調確認されるが、体調が悪ければ自分で伝える」という思いが聴取された。

高年齢労働者の事故予防対策として、保健師が会社に提案することで適切なのはどれか。

1. 警告音の音域を高音設定にする。
2. 照明を増設する必要性を確認する。
3. 体調確認は自己申告を基本とする。
4. 作業スピードは他の労働者と同じにする。

49 A社の保健師は、高年齢労働者の数名を対象とした事故予防の聴取の際に、仕事のやりがいや職場への思いについても聞いた。「技能を生かして同じ場所で働けるのは安心」という肯定的な意見とともに、「契約の変更で給与が下がり、働きが評価されていない」「若い上司の指示に従うのは抵抗がある」「後輩たちから尊重されていない」という職場への不満が聴取された。

この情報をもとに保健師が企画する内容で優先度が高いのはどれか。

1. 高年齢労働者を対象としたストレスコーピング学習会
2. 若手の従業員を対象としたアサーショントレーニング
3. 管理職を対象とした高年齢労働者の働き方を考える研修会
4. 安全衛生委員会で部署別のストレスチェックの集団分析結果を共有

次の文を読み 50～52 の問いに答えよ。

A 町は人口 1 万人で高齢化率 40 %、後期高齢者の割合が 65 % と高齢化が進行し、独居高齢者が多い。A 町は広大な山間部を有し、山の中腹や谷合に集落が点在している。運動機能が低下すると坂が多いため閉じこもり傾向となる高齢者が多い。近年、介護認定率が急増しており、健康寿命を延伸し住み慣れた地域で生活できるよう、地域包括ケアシステムの構築をめざす取り組みが検討されている。

50 A 町の高齢者実態調査で、他町と比べ転倒の経験がある高齢者の割合が多かった。また、介護認定を受けていない高齢者の 1 日の歩数が 1,000 歩未満の割合が最も多く、このような高齢者を対象に 3 か月間の筋力トレーニングを実施することにした。

この取り組みは介護保険におけるサービス・事業のどれか。

1. 居宅介護支援
2. 地域支援事業
3. 介護予防サービス
4. 地域密着型サービス

51 3 か月間の筋力トレーニングの取り組み終了直後は参加者の運動機能は向上したが、1 年後に介護認定を受けている参加者がいることが分かった。そのため、地域ケア会議で今後の A 町の介護予防について検討することになった。

検討する内容で最も適切なのはどれか。

1. 筋力トレーニングの質の向上
2. 介護予防サービス事業所の誘致
3. 筋力トレーニングの費用対効果
4. 社会的交流を目的とした社会資源の創出

52 A町の町民のアンケートでは、終末期の療養場所として自宅を希望する者が6割であるが、実際に死亡場所が自宅であるのは1割程度である。そこで、終末期に町民が住み慣れた地域で療養できる体制の構築について検討した。

保健師の取り組みで優先度が高いのはどれか。

1. 成年後見制度の普及
2. 介護保険サービスの利用促進
3. 在宅医療と介護の関係者の連絡会の企画
4. 救急搬送時間の短縮に向けた検討会の企画
5. 介護職を対象とした自動体外式除細動器〈AED〉の研修の実施

次の文を読み 53、54 の問いに答えよ。

A さん(64 歳、男性、要支援 2)は妻(63 歳)と 2 人暮らしである。5 年前に歩行時の違和感を自覚し受診したところ、脊髄小脳変性症と診断された。A さんは難病になったことに驚いたが徐々に受け入れ、妻の励ましやサポートを受けて生活してきた。最近、歩行時のふらつきが強くなったため「室内に手すりをつけたい」と保健師に相談した。

53 A さんの住宅改修について給付の根拠となる法律はどれか。

1. 介護保険法
2. 障害者基本法
3. 高齢者の医療の確保に関する法律
4. 難病の患者に対する医療等に関する法律〈難病法〉

54 住宅改修の後、保健師が 1 年に 1 回の家庭訪問を行い 3 年が経過した。ある日、妻から「通院治療を続けてきたが、最近、夫がよく転ぶようになり食事中もむせることが多くなりました。病気が悪くなってきているようで不安です」と相談があった。

保健師が確認する情報で優先度が高いのはどれか。

1. 妻の健康状態
2. A さんの ADL
3. A さんの世帯の経済状況
4. A さんの最近の食事内容

次の文を読み 55 の問いに答えよ。

A 市は地場産業が主要産業の人口 5 万人の市である。平成 30 年度(2018 年度)策定の自殺対策計画では数値目標として自殺者数の 20% 減少を掲げており、計画策定時に対策が優先された対象は 60 歳以上の男女と 40～59 歳の無職の男性であり、直近 2 年の自殺者総数は減少した。一方で、20 歳代男女の自殺企図による救急搬送の件数は増加傾向にある。

55 今後の A 市の 20 歳代への自殺対策として適切なのはどれか。2 つ選べ。

1. ソーシャルネットワーキングサービス〈SNS〉を活用した相談支援体制の強化
2. 精神保健福祉相談の希望者を対象とする精神科医による診察の実施
3. 特定健康診査・特定保健指導の場を活用したメンタルヘルス対策
4. 年 1 回のストレスチェック実施の義務化
5. ハローワークと連携した相談事業の実施











